

【開催日程・会場】

・平成23年 11月9日(水) 10日(木) / 16日(水) 17日(木)

午前9時30分～午後4時30分(受付開始=9時10分)

・「東織厚生年金会館」3階 第一会議室

東京都中央区東日本橋 3-6-20 3F TEL03-3661-5378(* 会場直通)

* 会場直通番号ですので、研修会当日のみ

【募集要項】

(1)受講対象者 企画、生産・品質管理及び仕入・営業関係等どなたでも受講可能ですが、①②コースは基礎的講座、③④コースは実務的講座(経験2～3年以上向き)となります。

(2)定員 各コース 40名
※先着順により定員になり次第締切らせていただきます。

(3)受講料 各コース 組合員 15,000円(税込)〈一般 20,000円(税込)〉
※テキスト・資料・昼食代を含む

(4)申込方法 別添申込書に必要事項をご記入の上、11月2日迄にFAXにてお申込み頂き、受講料も同日までに下記銀行口座宛お振込願います。※振込手数料は貴社でご負担願います。入金確認後、受講票と会場詳細地図をファクシミリ致します。請求書「要・不要」の欄に〇印も忘れずにお願致します。

三井住友銀行 人形町支店 普通預金 No. 15134 とうきょうおりのものおろししょうぎょうくみあい 東京織物卸商業組合

【問い合わせ先】東京織物卸商業組合 担当: 風見・新谷 かきみ にいぶ

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-9-6

TEL 03-3663-2104 Fax 03-3661-5430

HP アドレス <http://www.tafs.or.jp>

「研修会」会場への主要交通機関および案内図



最寄駅からの所要時間(徒歩)

- 東京メトロ 日比谷線「H13 人形町」A5 出口より5分
- 東京メトロ 日比谷線「H14 小伝馬町」1番出口より5分
- 東京メトロ 銀座線「G12 三越前」A4 出口より10分

- JR 総武快速線「馬喰町」A3 出口より3分
- 都営地下鉄 浅草線「A14 人形町」A4 出口より5分
- 都営地下鉄 浅草線「A15 東日本橋」A3 出口より5分
- 都営地下鉄 新宿線「S09 馬喰横山」A3 出口より3分

平成23年度 後期 「縫製と外観検査のポイント研修会」開催内容

講座名・開催日・講師	研修内容	午前の部 (9:30~12:00) (60分休憩)	午後の部 (13:00~16:30)
①繊維と品質機能	○衣料品の性能を決定する材料の基礎をわかりやすく解説します。素材や生地知識は、あなたの仕事に必ず役立ちます!	1. 繊維 水洗いの可否などは、繊維の性質によって決まります。 2. 糸 ニットの斜行や織物の収縮などは、組織の性質と糸の性質に影響されます。 3. 織物 生地の風合は、繊維と糸の性質に織物組織が影響します。 4. 編物 1本の糸から編立てられるヨコ編み。その構造と性質をわかりやすく説明します。	
11月9日(水) ㈱エムジー商品試験センター 顧問 窪田一郎氏			配布資料: ①講座テキスト・添付資料=②「白布の種類」・③「織物の組織」・④「よこ編各種組織サンプル編地」
②品質管理と法令(総合基礎)	○コンプライアンス: 法令の遵守は企業にとって最低限なすべき事項です。このコースでは、企業が消費者に対して安全・安心かつ魅力ある商品を提供するために必要な内容をわかりやすく解説します。	1. 品質管理の基本的な考え方 2. 繊維製品品質表示規程の構成 3. 品質表示の基本 4. 取扱い絵表示、サイズ表示、原産国表示 5. 品質試験報告書について	6. 染色堅牢度、物性試験等 7. 外観検査の留意点及び縫製品検査報告書について 8. 最近の消費者行政
11月10日(木) 公益団法人日本繊維製品卸検査協会 東京事業所 常務理事 草薙弘氏			※ 検査機関 試験機器の見学も予定しております。 配布資料: ①講座テキスト(テキスト「縫製と外観検査のポイント」含む) ②「衣料品の見分け方」 ③「縫い目の種類・縫い形式」他
③布帛製品実務	○縫製、検査の基本から実務までアパレルのものの作りを中心に、布帛製品の「縫製と外観検査」について、製品を検査するなど、見て・聞いて・やってみる研修として、種々な欠点を実物やサンプル、そして写真などでわかりやすく解説します。又、日本で売られているアパレル製品の90%以上を生産する中国を中心とした海外の縫製・検査(検品)の実情を映像などによりご紹介、製品の安全管理、検査の要点などについて解説します。	I 縫製 1. 縫製の基本 ・設計から販売まで ・良い衣服とは何か 2. パターン(型紙) マーキング(型入れ) 3. 仕様書・指図書(書き方)の見方 4. 縫製前(準備)工程 ・延反・裁断・仕分け・接着 5. 縫製の概要 ・生産方式の概要・工程分析の例	II 検査 1. 検査の基本 ・外観検査のポイント ・検査の実務(手順:標準動作) 2. 検査実施上の着眼点 ・生産工程の中で工場における検査 ・商品グレードと検査基準、柄合わせ基準、許容寸法等 ・検査結果のフィードバック ・製品の安全管理(危害物管理・針管理・検針管理) ・縫製・検査用語、縫製欠点用語の解説
11月16日(水) 三島アパレル技術研究室 主宰 三島良弘氏			配布資料: ①講座テキスト(テキスト「縫製と外観検査のポイント」含む) ②「衣料品の見分け方」 ③「縫い目の種類・縫い形式」他
④ニット製品実務	○編地の特徴とニット製品の検査チェックポイントなどを詳しく解説、さらにオーバーロックミシンを使用し、糸調子や差動装置について実演を行います。また、最近の中国縫製状況についても、あなたの仕事に役立つ情報を提供します。	1. 編地の特徴についての解説 2. ニット生地の斜行についての原因と解説と対策 3. 針穴キズの原因と防止対策について 4. 縫糸調子不良(テンションが強く引っ張ると切れるもの)についての原因と防止対策について 特に本縫いについて見本を作製し、解説を致します。	5. ニット製品に適した付属品・芯地の選び方(ボタン・ファスナー・スピナーテープ・ゴムテープなど) 6. ニット製品の検査のチェックポイント 7. ミシンを使用し、糸調子と差動装置についての実演。 8. ポロシャツ・セーターの検品・事例実習
11月17日(木) 一般財団法人日本繊維製品品質技術センター 東部事業所 元参事 現代表 山口文男氏			※ 各自セーター又はポロシャツをご持参ください 配布資料: ①講座テキスト(テキスト「縫製と外観検査のポイント」含む) ②ニット編「縫い目の種類・縫い形式」他 ③編地サンプル39・プリント地6種類/縫糸見本と補強テープ等14種類を提供